

総合

森林の豊かさを感じながら
里山整備活動
鹿行森林クラブ



短木栽培の湿気を保つため、菌床植え付けをした断面だけを残して土に埋める作業(左)。整備後は見違える程きれいになった。(右下)。

森林の利活用を目指すボランティア団体、鹿行森林クラブ(代表・久保隆さん)が10月5日(日)、行方市長野江の森で整備活動を行った。

旧鹿島郡と行方郡を活動の場とする鹿行森林クラブは、※いばらき森林クラブ第4期生や鹿行の地域住民などが集まり、昨年の9月9日に発足した。現在、会員は27人。森林の活性化と環境維持、会員の健康増進を目的に、月に1回のペースで行方市長野江と鹿嶋市三笠の2つの森の里山整備活動を行っている。



活動日当日は、秋の気配を感じる爽やかな陽光。会員らは草刈り班とキノコ栽培班に分かれて作業を開始した。草刈り班は、刈り払い機を使い、駐車場にする場所を整備し、キノコ栽培班は、ヒラタケの短木栽培を乾燥から守るために穴を掘って埋めたり、シイタケの駒打栽培を日光の当たらない場所へ移動させるなど、栽培の木材をそれぞれの場所に整理した。

作業自体は肉体労働であるが、和気あいあいとした雰囲気。代表の久保さんは「皆それぞれに得意分野があつて、教え合いながら活動しています」と話す。教え合うことで親睦が深まり、それが、楽しみながら活動することにつながっているようだ。

今年9月には、1周年記念事業として、地域の子供達とバーベキュー大会を行い、交流を深めた同クラブ。これから更に、活動が広がる予感がする。

※「いばらき森林クラブ」は平成9年に設立。茨城県内全域を活動領域に森林整備を行っているボランティア団体。入門講座を開講するなど、新たな森林ボランティアの育成にも力を入れている。

レイクエコーフェスティバルのハーブベア体験学習

サークルオリーブ 初心者向け
手づくりリテディベア

行方市宇崎のレイクエコーで10月11日(土)から12日(日)まで、「レイクエコーフェスティバル2008」が開催され、学習団体発表や体験活動、展示紹介などが展開。今回はその中の、「サークルオリーブによる「ハーブベア体験学習」」を取材した。

「ハーブベア」ということもあり、教室内はポプリの良い香りが広がり、参加者もリラックスしながら楽しんで制作している様子が見えがうか

えた。初心者向けの内容なので、ベアのパーツは出来上がった状態で用意されており、参加者は、一番楽しいとされるベアの顔作りとポプリ入れに挑戦できるようになっていく。

ベアの色は白とベージュで、体の中に入れるポプリもラベンダーとローズのそれぞれ2種類があり、好みの色と香りが選べるようになっている。

制作時間は、個人差もあるが約30分で完成する。



展示会場には、サークルオリーブの作品がいっぱい! (左) ※写真のテディベアは、いっださんの展示作品の一部。

いっださんはじめ、サークルオリーブの皆さんは気さくな方々ばかり。教室は和やかな雰囲気包まれていた。(下)



る。参加者も子供から大人まで様々だが、出来上がったベアには皆大満足。互いのベアを見せ合い「かわいい!」の言葉が飛び交っていた。



テディベア協会会員で講師のいっだみえこさん(鹿嶋市在住)は、「テディベアは癒しなので。それに、不思議と制作した人の顔に似るみたいですね。この体験学習で、テディベアの良さや作る楽しさが少しでも広まれば嬉しいです」と話してくれた。

また、同センターの中研究室Bでは、いっださんによる「手作りテディベア教室」を開講中。自分だけのオリジナルテディベアを制作してみたい方は参加してみたいか。

▽手作りテディベア教室▽場所/レイクエコー・中研究室B▽開講日/毎週水曜日・午後2時~4時(10月22日から12月24日までの全10回)▽費用/受講料1,000円・教材費/二体で7,000円▽問い合わせ/レイクエコー 0299-731-2300